



「ワクチン忌避と不顕性感染」

薬学部薬学科 教授 杉山 剛志



新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のパンデミックが起こったことで、感染症の専門用語をよく耳にするようになりました。コロナ禍以前はあまり考えてもみなかったことを考えさせられたり、常識が変わってしまったりしたことが多くあります。

表題はコロナ禍で私が気になっている二つの言葉です。

ワクチン忌避とは、推奨される予防接種を躊躇したり拒否したりすることです。COVID-19に限らず、定期予防接種に指定されて無料で接種できる予防接種においても一定数のワクチン忌避があります。過去にはワクチンの接種方法や、ワクチン自体の問題で重大な健康被害が起こった事例がいくつかありますが、それらのほとんどは医学的に解明、解決され、現在使用されているワクチンは非常に安全かつ有効になってきています。

不顕性感染とは、病原体が感染して体内に存在しているにもかかわらず、発熱などの症状が見られない状態です。不顕性感染は病原体を排出する場合があります、重大な感染源となりえます。COVID-19では当初から不顕性感染があることが指摘されていました。通常の風邪症候群やインフルエンザなどでも、不顕性感染や軽症の状態に出歩けば感染源となりますが、コロナ禍以前の社会はそれをある程度許容していました。今後はどう考えていくべきでしょうか。

医療従事者あるいは生命科学に関する教育に携わる者として、今後の社会の方向性を考えるために必要な、科学的な根拠を踏まえた、正しい知識を伝える役目を担っていく必要があると感じています。

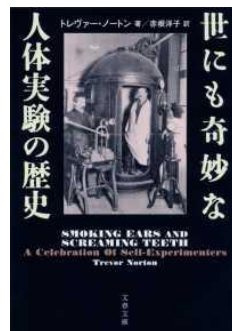


『世にも奇妙な人体実験の歴史』

トレヴァー・ノートン著



配架場所
490.4||No



薬学部薬学科 准教授 松井 敦聡

“彼はピロリ菌の培養液を飲み込んだ。もちろん事前に予防策はとってあった。つまり、実験許可が下りないとまずいので病院の倫理委員会には伝えなかったし、妻にも事後報告しかなかったのである。いずれにせよ、数日のうちに彼がぐったりして嘔吐し始めた時、妻に気づかれた。”

「人体実験」と聞くと、第二次世界大戦期のナチス強制収容所や日本陸軍731部隊で行われたとされる非人道的な行為が想像されるかもしれないが、本書で取り上げているのは、自らの体を犠牲に科学や医学の発展に貢献した医師や科学者たちの物語である。

淋病が全身に広がって梅毒になるという自説を証明するために、自分の性器に淋病患者の膿を塗りつける。一酸化炭素を吸引し死の淵をさまよひ、クロロホルムを吸引して昏倒する。エジプトの住血吸虫をアメリカに持ち帰るため自身に感染させる。コレラの細菌説を否定するためにコレラ菌の培養液を飲み干す。自分の腕の血管からカテーテルを挿入しレントゲン室で鏡を見ながら心臓に到達させる。頭のネジが一本外れているとしか思えない数々のエピソードの中には、自らの命を失うなど悲惨な結末に終わるものもあるが、英国人である著者のユーモア溢れる文章により重さを感じさせることなく軽やかに読み進められる。

彼らの自己犠牲が科学や医療の発展に貢献したことは賞賛されることであるが、数々のエピソードから感じられるのは、人類に貢献するという使命感よりも、ただただ自分のアイデアを証明して知的好奇心を満たしたいという欲望への圧倒的熱量である。

『マンガでわかる! 気分よく・スイスイ・いい方向へ 「自分を動かす」技術』

ゆうきゆう(著)



配架場所
159||Yu



勉強しようと思っていたのに、実際はテキストを開くことさえしなかった。スマホで動画を見ていたら、気が付けばものすごく時間が経過していた。

私も毎日のようにやってしまっただけで、自分はなんてダメなんだ!と落ち込みます。しかし、この本によれば「人間は思った通りの行動をなかなかできない生き物」なのだそうです。ならサボるのもしょうがないよね!と投げやりになるのではなく、自分をうまく動かす力 = 「自制力」を身に着けて、自分の人生を望む方向の軌道に乗せていきたいですね。

本書はマンガなので読みやすいですし、色々な技術が数ページで紹介されているのでとても読みやすいです。やった方が良く分かっているのに、自分を動かさない人には、とくに「ズララララッ」と並ぶ自分自身を想像しよう」のページを読んでいただきたいです。



可児キャンパス
司書 大脇 未智



図書館のオシラセ



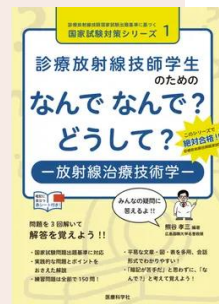
10/18(月)～10/27(水)
関キャンパス・可児キャンパス合同イベント
『オンライン学生選書』を開催しました！



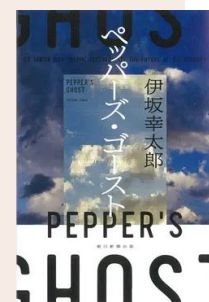
● 関キャンパス 12月・1月の展示紹介

関キャンパスでは、

- ①学生が選んだ臨床検査学科・放射線技術学科・大学院生向けの専門書
 - ②最近話題の小説、日々の暮らしに役立つ実用書、ホッと一息つきたい時に気軽に読める本等
- 今回のオンライン学生選書で選ばれた本を展示しています。



専門知識を深められるものから、学ぶ姿勢・モチベーションがアップしそうなもの、話題作まで盛りだくさん！学生目線で選ばれた本はすべて借りることができます！ぜひご来館ください



※今回学生に選ばれた本の一例

● 可児キャンパス 12月・1月の展示紹介

今回のオンライン学生選書には、可児キャンパスからはN科とP科の学生4名が参加してくれました。学生目線で、学習に役立つような本がたくさん選ばれています。

企画展示コーナーでは、『学生選書展』を開催します！ぜひ図書館に足を運んで、手に取って見てください。企画展示の本は、すべて貸し出しOKです！



<図書館開館カレンダー>

関キャンパス [12・1月]

◆ 2021年12月

月	火	水	木	金	土	日
		1 9:10~ 19:00	2 9:10~ 19:00	3 9:10~ 19:00	4 休館	5 休館
6 9:10~ 19:00	7 9:10~ 19:00	8 9:10~ 19:00	9 9:10~ 19:00	10 9:10~ 19:00	11 休館	12 休館
13 9:10~ 19:00	14 9:10~ 19:00	15 9:10~ 19:00	16 9:10~ 19:00	17 9:10~ 19:00	18 休館	19 休館
20 9:10~ 19:00	21 9:10~ 19:00	22 ★ 9:10~ 18:20	23 ★ 9:20~ 16:30	24 ★ 9:20~ 16:30	25 休館	26 休館
27 ★ 9:20~ 16:30	28 休館	29 休館	30 休館	31 休館		

◆ 2022年1月

月	火	水	木	金	土	日
					1 休館	2 休館
3 休館	4 休館	5 休館	6 ★ 9:20~ 16:30	7 ★ 9:20~ 16:30	8 休館	9 休館
10 休館	11 9:10~ 19:00	12 9:10~ 19:00	13 9:10~ 19:00	14 9:10~ 19:00	15 休館	16 休館
17 9:10~ 19:30	18 9:10~ 19:30	19 9:10~ 19:30	20 9:10~ 19:30	21 9:10~ 19:30	22 休館	23 休館
24/31 9:10~ 19:30	25 ★9:10~ 16:00	26 9:10~ 19:30	27 9:10~ 19:30	28 9:10~ 19:30	29 休館	30 休館

可見キャンパス [12・1月]

◆ 2021年12月

月	火	水	木	金	土	日
		1 9:10~ 19:00	2 9:10~ 19:00	3 9:10~ 19:00	4 休館	5 休館
6 9:10~ 19:00	7 9:10~ 19:00	8 9:10~ 19:00	9 9:10~ 19:00	10 9:10~ 19:00	11 休館	12 休館
13 9:10~ 19:00	14 9:10~ 19:00	15 9:10~ 19:00	16 9:10~ 19:00	17 9:10~ 19:00	18 休館	19 休館
20 9:10~ 19:00	21 9:10~ 19:00	22 ★ 9:10~ 18:20	23 ★ 9:20~ 16:30	24 ★ 9:20~ 16:30	25 休館	26 休館
27 ★ 9:20~ 16:30	28 休館	29 休館	30 休館	31 休館		

◆ 2022年1月

月	火	水	木	金	土	日
					1 休館	2 休館
3 休館	4 休館	5 休館	6 ★ 9:20~ 16:30	7 ★ 9:20~ 16:30	8 休館	9 休館
10 休館	11 9:10~ 19:00	12 9:10~ 19:00	13 9:10~ 19:00	14 ※ 休館	15 休館	16 休館
17 9:10~ 19:30	18 9:10~ 19:30	19 9:10~ 19:30	20 9:10~ 19:30	21 9:10~ 19:30	22 休館	23 休館
24/31 9:10~ 19:30	25 ★9:10~ 16:00	26 9:10~ 19:30	27 9:10~ 19:30	28 9:10~ 19:30	29 休館	30 休館

現在、学外者の利用可（ただし、30分程度の利用限定）です。

ただし状況により、開館時間や学外者の利用が変更になる可能性がありますので、
来館の前に、必ず図書館HPで最新の開館カレンダーをご確認ください。

★（関・可見）授業終了のため、短縮開館。 ☆（関・可見）図書館会議のため、短縮開館。

※（可見）大学入学共通テスト準備のため休館。